

5 市民文化系施設

市民文化系施設は10施設で、総延床面積は10,314㎡です。

中央公民館、西多久公民館、北多久公民館、納所交流センター及び鳥居原教育集会所が旧耐震基準に基づく建物となっています。このうち、中央公民館は耐震診断を実施し、耐震性に問題はないと判断しています。

(1) 施設一覧

施設名	延床面積 (㎡)	竣工年度	構造
中央公民館	2,784	1981・1991	RC造
東多久公民館	744	2008	S造・CB造
南多久公民館	647	2005	S造・W造
多久公民館	656	2003	S造・W造
西多久公民館	894	1967～2005	S造・W造
北多久公民館	491	1978	W造
東多久交流プラザ	94	2001	W造
まちづくり交流センター	1,605	2014	RC造
納所交流センター	2,108	1972・1980	RC造・W造
寒鶯亭	291	1992	RC造・W造

※「寒鶯亭」の竣工年度は改修年度を記載

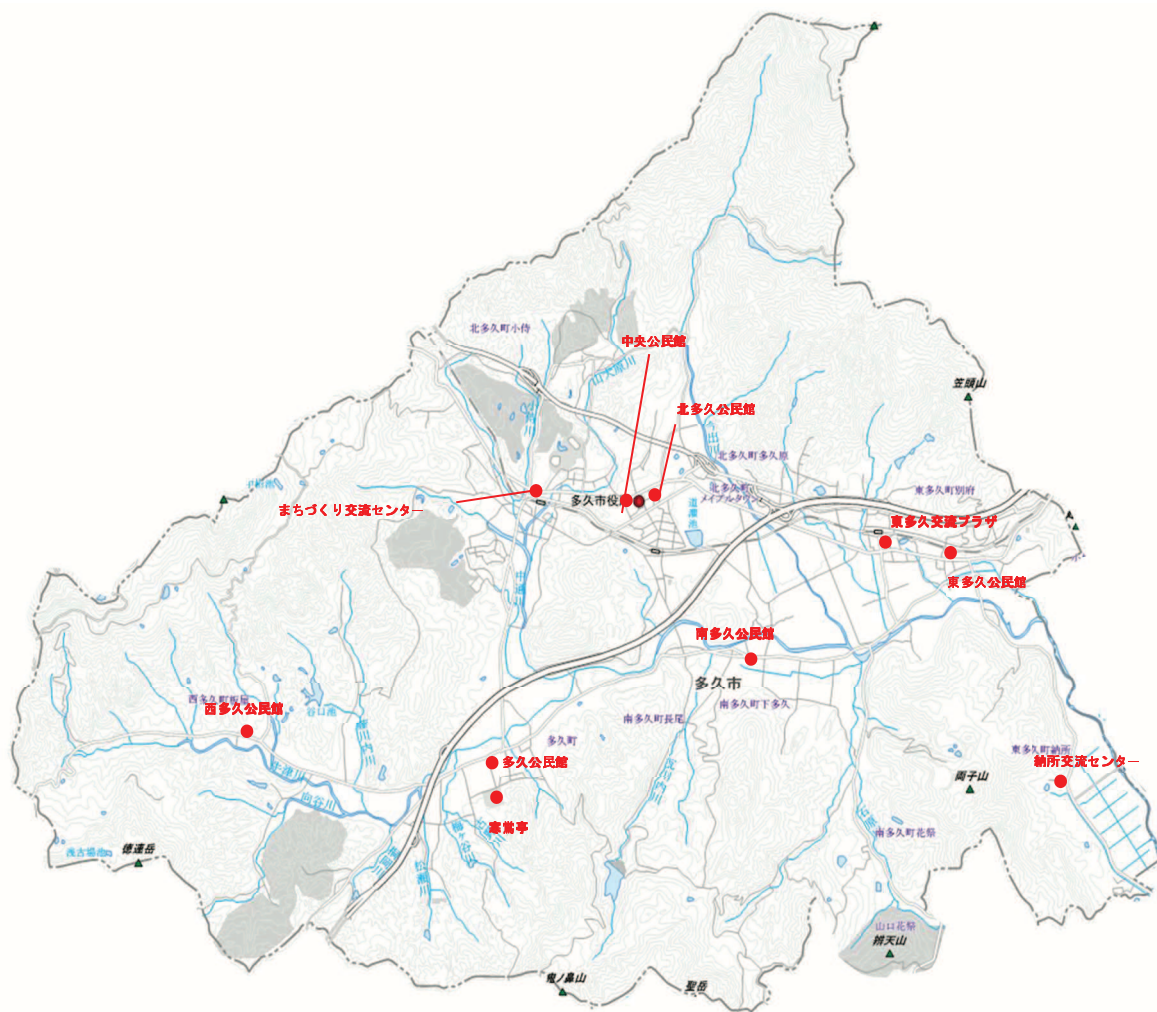


中央公民館



まちづくり交流センター

(2) 施設の配置状況



(3) 今後の基本的な方針

市民文化系施設のうち、西多久公民館の一部、納所交流センター及び北多久公民館が旧耐震基準に基づく施設となっていますが、旧納所小学校の校舎を利活用している納所交流センターのみ耐震診断及び耐震改修工事も実施しています。

東多久公民館、南多久公民館及び多久公民館は比較的築年が新しい施設ですが、その他の施設は、施設の老朽化に伴い、更新、改修が必要となってきます。定期的な調査を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、安全性、稼働率、類似施設の分布状況などを勘案して、施設の統廃合、集約化、他施設への機能移転等も検討していきます。